

令和8年度第1回苫小牧市食育推進協議会 議事録

開催日時 令和8年5月26日(火)18時30分～19時10分

開催場所 本庁舎5階 第2応接室

出席者

・協議会委員 8名

浅倉委員、荒物屋委員、岩城委員、遠藤委員、岡田委員、岡元委員、佐藤和希委員、仲見委員

・事務局 12名

健康福祉部長、健康福祉部次長、保健医療介護推進室長、健康づくり課長、健康づくり課長補佐、健康づくり課主査、健康づくり課栄養士、健康づくり課主任主事、健康づくり課保健師、産業経済部次長、農林水産振興課主査、学校給食共同調理場長

・報道関係者 1名

次第

1 開会

(司会)

ただ今から「令和8年第1回苫小牧市食育推進協議会」を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、御出席いただき、誠にありがとうございます。

本日、司会を務めます、健康づくり課課長補佐の松田と申します。どうぞよろしく願いいたします。

2 部長挨拶

(部長)

ただいまご紹介にあずかりました、苫小牧市健康福祉部長の木澤と申します。食育推進計画は、これまでは健康子ども部が担当しておりましたが、市役所の機構改革がございまして、健康支援の担当が変更になり、健康福祉部が担当させていただきますので、よろしく願いいたします。

本日はお忙しい中、「令和8年度第1回苫小牧市食育推進協議会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、日頃より本市の保健福祉行政、および食育の推進に対し、多大なるご尽力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

食育につきましては、市民の健康増進や持続可能な社会の実現に向けて欠かせない、重要

な取組でございます。本市におきましては、生涯にわたって健全な食生活を実現し、豊かな心と健やかな体をつくることを基本理念としまして、家庭・学校・地域が連携した施策を推進してきたところでございます。

今年度につきましては「第2次苫小牧市食育推進計画」の最終年度という節目の年を迎えておりまして、本日の協議会では、令和7年度の事業実施報告と令和8年度の事業実施計画などを共有させていただきたいと考えておりますが、次期「第3次苫小牧市食育推進計画」の策定を見据えまして、これまでの取組の成果や課題などについてご意見をいただきまして、次期計画へ反映させていきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

本日は限られた時間ではございますが、活発なご議論をお願い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 議事

(司会)

本日の協議会は、委員13人中8人の出席となっておりますので、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第6条第2項に基づきまして、本日の会議が成立していることを報告いたします。

なお、本日の会議は、19時半頃を目途に終了したいと考えております。円滑な議事の進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

それでは、ここからの司会進行は、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第5条第4項に基づき、委員長に進めていただきます。

岡元委員長、よろしくお願いいたします。

(委員長)

皆さん、こんばんは。明野中学校長の岡元と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、議事(1)の「第2次苫小牧市食育推進計画の取組状況について」について事務局から説明をお願いします。

(健康づくり課主任主事)

それでは議事(1)「第2次苫小牧市食育推進計画の取組状況について」、令和7年度の実施結果と令和8年度の実施計画について説明いたします。資料1をご覧ください。

まず、本計画の概要を改めてご説明いたします。

「苫小牧市食育推進計画」は、平成29年11月に策定された第1次計画を経て、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画期間として第2次計画を策定しております。

「生涯にわたって健全な食生活を実現し、豊かな心と健やかなからだをつくります」とい

う基本理念のもと、3つの基本目標を掲げ、合計57の事業を展開しております。

基本目標1は、「食を学び、健康なからだをつくります」といたしまして、基本的な食習慣の形成による健康的なからだづくりにつながるものとして、各種健診や健康づくりに関する講習会など、24事業に取り組んでおります。

基本目標2は、「食を楽しみ、感謝の気持ちを育みます」といたしまして、食の楽しさを学び、マナーや感謝の気持ちを育むものとして、学校給食における郷土食の提供や、地場産品を味わうイベント、食品ロス削減への意識を高める事業など、23事業に取り組んでおります。

基本目標3は、「食」にふれあい、食育への理解を深めます」として、新たな生活様式を取り入れ、デジタル化に対応した食育を推進するものいたしました。共食に関する事業や、SNSなどのデジタルツール等を活用し特に若い世代への食育を推進する事業として、10事業に取り組んでおります。

資料1の中央の欄、令和7年度実施結果をご覧ください。全体の評価といたしましては、「A:順調」が47事業、「B:やや順調」が10事業となりました。令和6年度と比較しますと、A評価が2事業増加しており、全体としておおむね順調に推移していると評価しております。

ここで、前年度から評価が変動した主な事業について、ご説明いたします。

まず、評価が下がった事業についてです。

No.12の「給食試食会」につきましては、保護者の方に、試食後にアンケート調査を実施し調査内容を献立作成の参考にしているものですが、回答率が前年度の51%から47%へ低下したため、A評価からB評価としております。今後は、回答率を上げるための工夫を検討してまいります。

次に、No.31の「エコクッキング」につきましては、地球温暖化防止についてのミニ講話や、環境への負荷を減らす省エネ料理を子どもと一緒に実践していく中で、家庭でもできる身近なエコ活動について学ぶものでございます。募集を上回る応募があり好評でしたが、「ゼロカーボン啓発」という本来の目的に対し、料理教室としての側面が強くなっているという課題が見えました。そこで、事業の方向性を再検討するため、令和8年度は休止することとし、B評価としております。これは、より効果的な事業へ再構築するための前向きな見直しととらえております。

次に評価を上げた事業についてです。

No.23の「健康講座」につきましては、食に関する講話と実習を行うことにより、知識と技術の向上を図ることを目的に実施しているものです。令和7年度は新規で実施した「乾物のある食卓（朝コース・夜コース）」が好評であったほか、親子パン作り教室においては、「母親コース」「父親コース」という枠組みを撤廃し、祖父母も含めた幅広い参加を可能といたしました。その結果、参加者層が広がり、申し込み数も増加したことを評価し、B評価からA評価へ引き上げました。令和8年度も同様の方針で、事業を継続していく予定です。

次に、No.26の「出前講座」につきましては、希望のあった小学校を対象に「使い切り」

「食べきり」「水切り」の生ごみ3きり運動についての出前講座を行っているものです。実施校が前年度の7校から10校へと増加しました。また、児童の発達段階に応じた内容の工夫により、食品ロス削減への理解をより深められたことから、前年度B評価からA評価としております。令和8年度は引き続き、食品ロス削減の意識向上のため実施していく予定です。

次に、No.30の「生活体験教室」につきましては、そばがきづくりや昔ながらの保存方法である燻製づくりの体験などを通じて食生活の伝承を目的に行っているものです。令和7年度は3回教室を実施し計44名が参加され、いずれも定員を超え好評であったこと、また食を中心とする体験を通じて、地域の歴史や文化を継承するという事業目的を十分に果たせたことから、前年度B評価からA評価としております。令和8年度も3つの教室を実施予定であります。

次に、No.37の「自然観察バスツアー」につきましては、これは勇払原野に自生するはすかっぶの摘み取りや試食体験を自然観察しながら行うバスツアーとなっております。定員の4倍を超える申し込みがあり、市民の地場産品に対する関心の高まりがみられたため、前年度B評価からA評価としております。

これら以外にも、資料記載の全事業につきまして、引き続き各担当課において着実に実施し、市民の皆さまの食育推進に向けて効果的な取組を継続してまいります。

説明は以上になります。

(委員長)

ありがとうございました。ただいまの議事(1)につきまして、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

(各委員からの質疑なし)

(委員長)

ご質問がなければ、以上で議事(1)の報告を終了いたします。

続きまして、議事(2)の「第2次苫小牧市食育推進計画以外の取組」について、事務局より説明をお願いします。

(健康づくり課栄養士)

健康づくり課の山本と申します。よろしくお願ひいたします。

私のほうから議事(2)の報告をさせていただきます。

資料2をご覧ください。資料2は第2次苫小牧市食育推進計画以外の取組内容としまして食育推進計画に掲載していない事業の中で令和7年度に実施したもの、あるいは令和8年度に実施予定の取組について庁内各課から取組を集めたものでございます。

まず私からは、1エゴシカ肉の有効活用について、担当の環境生活課に代わってご報告い

たします。

こちらは、令和7年度の取組としまして、エゾシカの殺処分にとどまらず命の大切さを教える食育につなげることを目的に実施した取組です。具体的には、苫小牧市内で捕獲したエゾシカ6頭分を食肉加工しまして、令和7年6月にシカ肉と苫小牧産のしめじを使った『ポロネーゼ』として、市内の全小中学校の給食で提供されました。給食での提供の様子が、右下の「エゾシカ肉を給食で提供活用」の画像です。

また、3月には「エゾシカ料理研究会」を開催し、給食用シカ肉の加工を担う事業者を講師に招いて調理のコツの紹介や試食会（カレー・ハンバーグ）を行っております。さらに、参加者にエゾシカのひき肉を配布して独自のメニューを考案してもらい、集まったレシピをSNSで発信いたしました。これが左下の画像（料理名 エゾシカ長特製 エゾシカチーズメンチカツ）となります。

令和8年2～3月にも40頭を捕獲しており、令和8年度も引き続き学校給食への提供を予定しております。

報告は以上です。

（農業水産振興課主査）

農林水産振興課片山と申します。私からは第2次苫小牧市食育推進計画以外の取組の2つ目としまして、「苫小牧産水産物魚食普及支援事業」についてご報告させていただきます。

本取組は現在、苫小牧漁業協同組合様が市内の子どもたちの魚食普及や地産地消の観点から、令和4年度より市内全小中学校37校の給食に地元で採れた水産物を年に数回提供し、子どもたちが地元水産物の美味しさや価値を知ってもらう取組となっています。

これまでにサケやマス・タラ、ホッケなどがいろいろなメニューとして提供されており、苫小牧で採れた水産物であることを知ってもらうために（資料2の下図のような形で）献立表へも記載を行い、子どもたちの興味をひく工夫も凝らしています。

市農林水産振興課としても、令和8年度からは水産業プロモーション事業の一環として、将来にわたる水産業の振興の観点からその取組に対し、費用の一部を補助するものとなっております。

結果、学校給食に対し、苫小牧産水産物の提供回数の増加でしたり、多様な魚種の提供につながるものと考えております。

今後も苫小牧漁業協同組合様と連携を図りながら、地元で獲れた水産物を安定して提供できるとともに、子ども達に苫小牧産の水産物を食べてもらう機会、喫食回数を増やしていくとともに将来に渡って習慣的に魚を食べてもらうことで、地産地消や水産業の振興につなげてまいりたいと考えています。

以上となります。

（委員長）

ありがとうございます。

令和7年度取組報告、令和8年度の取組予定についてご報告いただきました。

ただいま説明のあった議事(2)について、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

(荒物屋委員)

苫小牧地方食品衛生協会の荒物屋です。質問・意見というほどではないのですが、資料2に記載されているエゾシカ肉の有効活用や水産物の普及といった「第2次食育推進計画以外の取組」として、一言述べさせていただきます。

これらの取組は、先ほど説明のあった食育推進計画の進捗や、令和8年度の活動ともリンクしてくるものかと思いますが、今後は「郷土食」として、第3次計画に向けて取り組んでいく意味合いが強くなるのではないのでしょうか。

例えば、苫小牧産のホッキは給食でもホッキカレーなどかなり好評といわれてますし、全国的に有名ですし、またエゾシカ肉についても、地元の苫小牧産のしめじを活用するといった工夫ができる点では、今後は「郷土食の拡充」という視点で計画に盛り込み、環境衛生部・産業経済部・農水関係部署などと連携しながら、計画を今後考えていただけたらと思います。今回の資料を見て、今後への期待が持てると感じましたので、意見・要望として述べさせていただきます。

(委員長)

ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。

(健康づくり課長)

ご提案と受け止めさせていただきます。

ただいま計画以外の取組として、ご報告させていただいた内容につきましては、今後に向けて各部各課で取組まれていくものと考えております。

もともと食育推進計画は、平成17年に食育基本法という国の法律ができたところから始まるのですが、それから約20年たった今、国は新たな食育基本計画を作るにあたって、今テーマとしているところが、「学校等での食や脳に関する学びの充実」、これは文部科学省が所管になると思います。「健全な食生活の実践に向けた「大人の食育」の推進」、これは厚生労働省が所管となると思います。「国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大」ということで、これは農林水産省の所管となると思いますが、国も関係省庁が連携しこの取組を20年間実施してきた経過があるところです。市町村としても、この協議会に因るにあたり、庁内12の部署で議論を重ねて、本日の内容をお示ししているところであります。次期計画策定に向けて、このような新たな取組について、郷土食についても盛り込んでまいりたいと思いますし、今日集まりの皆様からの意見を踏まえて第3次計画を策定していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(荒物屋委員)

今のお話で十分お答えをいただいたと思います。郷土食について、子どもたちにとって、苫小牧のという部分で、安心安全なものであってほしいと思い、第3次計画の中で膨らませていただけたらと思います。ありがとうございます。

(委員長)

学校現場でも、子どもたちや教職員ともにホッキカレーは好評で、エゾシカ肉も初めてだったので「おおっ」と大人含め関心が高かったです。引き続きよろしく願いいたします。

では議事(2)の報告については終了いたします。

それでは、議事(3)の「食育月間・年間における取組」について、事務局から説明をお願いします。

(健康づくり課栄養士)

私から、議事(3)「食育月間および年間における取組について」ご報告させていただきます。

資料3-1をご覧ください。まず、令和7年度の年間取組事業結果を報告いたします。昨年度の事項ですので、旧課名で失礼いたします。

1と2と3の食育月間の取組につきましては、学校給食共同調理場にご協力いただき、「給食」をテーマに実施いたしました。1の市役所ロビーでのパネル展では、「調理場の1日」の紹介や野菜が摂れる給食レシピの配布を行いました。2と3の中央図書館での展示につきましても、歴代の給食食器の展示や給食に関するクイズを実施し、期間中、図書館のSNSでも積極的に発信していただきました。クイズに参加してくださった方には景品として食育消しゴムをお渡しし、大変好評をいただきました。

4の9月の食生活改善普及運動月間につきましては、市内のファミリーマートとセイコーマートにて、野菜摂取などを呼びかけるPOPの掲示を行いました。掲示は各店舗の判断とさせていただきますが、ご協力いただける店舗に設置していただきました。

5の市民生活課が発行する「くらしのニュース」につきましては、年4回のペースで当課の『食育&健康コーナー』を掲載してもらっています。旬の食材を使ったレシピなど、季節に即した情報発信を継続して行っております。

6の教育福祉センターの食育コーナーにつきましては、例年同様、乳幼児健診の会場内に飲料の砂糖量パネルやフードモデルなどを展示し、待ち時間に保護者の方に見ていただけるよう工夫しております。7の児童センターへのポスター掲示につきましても、青少年課にご相談させていただいた上で、冬休み期間に合わせて実施いたしました。

その他の「3課合同栄養士連絡協議会」につきましては、11月に健康支援課、こども育成課、給食調理場の栄養士が集まり情報交換を行いました。ここでは、学校や保育園で子どもたちへの直接的な食育はできているものの、「保護者に対する働きかけに苦慮している」という現状が共有されました。この点は、今後の第3次計画で注目していきたい「大人の食

育」にも深く関わる課題だと認識しております。

次に、資料3-2をご覧ください。令和8年6月の食育月間における取組についてご説明させていただきます。

今年度の食育月間では、市の課題の一つである「朝食欠食」をテーマといたしました。1の市役所1階ロビーのパネル展では、6月1日から12日まで、広く市民へ朝食について考えるきっかけづくりを行いたいと考えております。ただ見ていただくだけでなく、参加型の展示を取り入れることで、市民の皆様の関心を惹きたいと考えております。参加人数の目標は、昨年度と同等の延べ150名としております。

2の図書館では、5月30日から6月25日まで、朝食をテーマとした展示を行います。ガラス展示コーナーにはフードモデルを展示し、朝ごはんをよく食べる食品のカロリー等を視覚的にわかりやすく示します。また、貸出カウンター前では子ども向けのクイズを展示し、正解数に応じて図書館スタッフから景品を配布していただく予定です。こちらの目標人数は、昨年度の実績を踏まえ220名としております。なお、今年度は中央図書館だけでなく、東開文化交流サロン図書コーナーでもクイズを展開します。

以上のように、令和8年度におきましても、関係団体・関係部署の皆様と連携を図りながら、市民の食育への関心を高め、行動変容につながるような普及啓発に努めてまいります。食育月間および年間取組については以上です。

(委員長)

ただいま説明のあった議事(3)について、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いいたします。

(各委員からの質疑なし)

(委員長)

それでは、食育月間・年間における取組につきましても以上で報告を終了いたします。

それでは、議事(4)の「苫小牧市食育人材バンクの実施状況」について、事務局から説明をお願いします。

(健康づくり課主査)

健康づくり課の東梅と申します。

私のほうから、苫小牧市食育人材バンクの実施状況について、ご報告いたします。資料4をご覧ください。

本事業は、食育の各分野に精通した「食育人材バンク講師」を地域へ派遣し、食育活動を推進するものです。現在の登録状況は、個人6件、団体5件となっております。

令和7年度の実績は、依頼数43件、延べ参加人数2,655名でした。前年度の31件、2,024名と比較して大幅に増加しております。依頼先の内訳は、約6割弱が幼稚園・保育園、約

3割強が高齢者の「通いの場」となっており、幅広い世代が利用しております。

また、令和6年度より開始した連携協定企業の協力による「ベジチェック体験」、これは手のひらを機械にかざすことで、普段の野菜摂取量がわかるものですが、10件実施いたしました。講話に体験を組み合わせることで、より実効性の高い知識の習得につながったと考えております。

なお令和8年度につきましても、5月25日時点で既に32件の依頼をいただいております。本事業は、地域の食育活動を活性化させる有効なツールです。現段階でこのホクトや日ハムはニーズが高く申し込み受付を終了しましたが、ほかの講師の対応は現段階で可能ですので、委員の皆様が所管されている事業等において、講師の選定や内容にお困りの際は、ぜひ本バンクの活用をご検討ください。

私からは以上です。

(委員長)

ただいま説明のあった議事(4)について、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

(各委員からの質疑なし)

(委員長)

質問がなければ、「苫小牧市食育人材バンクの実施状況」につきましては以上で報告を終了いたします。

(委員長)

それでは、議事(5)の「第3次計画策定スケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

(健康づくり課主任主事)

議事の(5)「第3次計画策定スケジュールについて」ご説明いたします。資料5-1から5-3をご覧ください。

まず、「資料5-1：今後の計画策定スケジュールについて」をご覧ください。

本年度は「第3次苫小牧市食育推進計画」の策定年度です。5月7日より食育に関する市民アンケートを配布しております。今後の流れといたしましては、夏頃にアンケートの集計と計画素案の作成を行い、8月下旬の協議会で結果をご報告する予定です。その後、10月下旬に協議会にて第3次計画(案)をお示しし、12月にはパブリックコメントの実施、1月下旬に協議会にてパブリックコメントの結果報告及び第3次計画(案)をお示しし、令和9年3月の印刷製本・配布に向けて進めてまいります。

次に、「資料5-2：苫小牧市食育に関する市民アンケート調査方法と今後の方向性」をご

覧ください。

今実施しているアンケートは、現在の第2次計画の評価および第3次計画策定に向けた基礎資料を得ることを目的としております。対象者は、無作為抽出した一般市民1,680名のほか、市内の企業、保育園、高等専門学校などにご協力をいただき、約4,000枚を配布いたしました。実施期間は5月7日から25日までとしており、現時点で約1,400件の回答をいただいております。

また、今後の方向性についてですが、国や北海道の計画の動向を踏まえ、「大人の食育の推進」などを意識しながら市の現状を分析し、次期計画を充実させていく方針です。

さらに、当課が所管する『健康増進計画』との統合も見据えております。食は健康づくりの土台であり、両計画を統合することで施策の相乗効果が期待できること、そして、共通する事業を一本化することで、より効率的な事業展開を図るため、両計画の統合を見据えております。そのため、第3次食育推進計画につきましては、現健康増進計画の終期である令和11年度までの『3か年計画』とすることも視野に入れて検討を進めてまいります。

最後に、「資料5-3：令和8年度苫小牧市食育に関するアンケート調査」につきましては、前回の会議で出たご意見を踏まえ作成した確定版で、前回の会議後に皆様にお送りしたものととなっておりますので、本日は共有のみとさせていただきます。

私からの説明は以上となります。

(委員長)

ただいま説明のあった議事(5)について、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いいたします。

(各委員からの質疑なし)

(委員長)

質問がなければ、「第3次計画策定スケジュール」につきましては以上で報告を終了いたします。

4 その他

(委員長)

それでは、最後にその他として、議事全体を通して、委員の皆様からご質問やご意見等があれば挙手をお願いいたします。

(委員長)

今年度のスケジュールを見ると、昨年度よりも会議の回数が増えてますが、昨年度は1～2回だった記憶がありますが、いかがでしょうか。

(健康づくり課長)

例年はこの時期の年1回となっておりますが、令和7年度は計画改定があるため、1回増やして計2回開催いたしました。令和8年度につきましては、第3次食育推進計画の改定作業が本格化します。進捗に合わせて皆様と情報共有を行い、計画策定を適切に進めるため、今後3回の会議(計4回)を予定しております。ご協力をお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございます。

今年度につきましては、会議の回数がありますので、委員の皆様ご協力をお願いいたします。それでは、全体を通して皆様から何かありますか。

(各委員発言なし)

(委員長)

それでは本日予定しておりましたすべての議事が終了しました。皆さんご協力ありがとうございました。

(司会)

岡元委員長をはじめ委員の皆様、ありがとうございました。

本日頂戴しましたご意見につきましては、担当部署と情報共有させていただき、今後の食育活動につなげてまいりたいと考えております。

また、第3次計画の策定に向け、委員の皆様には今後とも多角的な視点からご助言を賜りますよう、よろしくをお願いいたします。次回の協議会は8月を予定しております。改めて詳細をご案内いたしますので、引き続きよろしくをお願いいたします。

それでは、以上をもちまして「令和8年度第1回苫小牧市食育推進協議会」を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございました。

5 閉会